

おごおり 議会だより

No.199

令和6年8月号

夢をのせて走る七夕列車



松崎花壇部の皆様



綺麗になった松崎駅



- P 2～6 議会の動き
- P 7～14 市政を問う・一般質問13人、おもな事業
- P 15 議案審議結果一覧、賛否が分かれた案
- P 16 9月定例会の会期日程(予定)、編集後記

発行責任 福岡県小郡市議会

委員会、新メンバーでスタート！

5月16日の臨時会で委員会の改選を行いました。

総務文教常任委員会

令和6年度 重点調査項目

1. 防災
(流域治水の取組促進、
自主防災組織の現状等)
2. インクルーシブ教育と特別
支援学級について



保健福祉常任委員会

令和6年度 重点調査項目

1. こども家庭支援センターに
ついて
2. 在宅医療・介護について



都市経済常任委員会

令和6年度 重点調査項目

1. 大型商業施設及びインター
チェンジ等を含めた土地利
用の現状と課題について
2. 浸水被害の軽減を目的とし
た流域治水の推進と田んぼ
ダムの取組について



議会運営委員会

委員長	田中 雅光	副委員長	黒岩 重彦
委員	川野 悦子	委員	内山 伸博
委員	佐藤 源	委員	高木 良郎
委員	大場 美紀	委員	後藤 理恵

議会全体の運営を担当し、議会改革の中心となります。

特に、住民参加と情報公開を柱とする市民に開かれた議会運営を目指します。

また、自由で活発な議論が行われるよう民主的運営に努めます。

議会広報特別委員会

委員長	佐藤 源	副委員長	川野 悦子
委員	内山 伸博	委員	甲斐田典彦
委員	立山 稔	委員	山田 忠

議会報の作成及び情報技術の発達を踏まえた多様な広報手段を活用するための調査研究を行います。

↓ 討論

報告第6号

専決処分を報告し、承認を求めることについて (小郡市健康保険税条例の一部を改正する条例) 可決

反対理由の1点目は付加限度額の見直しでは、国民健康保険が抱える構造的な課題を解決することができないこと。2点目は、議会の議決を経ずに専決処分をされているということ。

反対



小坪 輝美



内山 伸博

賛成

今回の改正は、「地方税法施行令の一部を改正する政令」が令和6年3月30日に公布され、4月1日から施行されることにより、小郡市国民健康保険税条例の一部を改正する必要が生じたため、専決処分を行ったものである。



議案第28号

小郡市総合保健福祉センター条例の一部を
改正する条例の制定について 可決

提案理由

小郡市総合保健福祉センターの温泉「満天の湯」の市内住民の利便性を確保するため、市外住民の使用料変更を行うことで適正化を図ることを目的として、条例の一部を改正する。

混雑している状況の分析が根拠に乏しく明確でない。また、市外住民の料金設定について高すぎる。市民の良好な利用状況を確保するためであっても、料金設定については、もっと丁寧に段階的に行っていくべき。

反対



小坪 輝美



内山 伸博

賛成

「満天の湯」は、市外利用者が市民を上回る状況になっており、混雑が常態化している。今後もさらに市外利用者の増加が見込まれることから、市内利用者の良好な利用環境を確保するため、市外利用者 に一定の費用負担をお願いする必要がある。

小郡市は三井郡の関係もあり、近隣住民同士の交流も非常に多い地域の温泉である。繋がりも深く、交流の場として有益な場所である。ここは総合保健福祉センターであり、福祉という観点を持って判断してほしい。

反対



高木 良郎

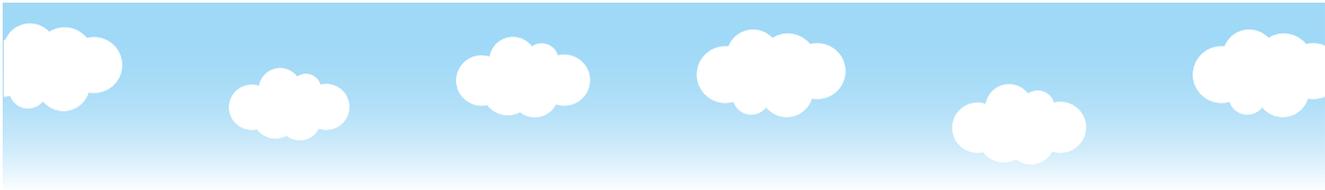


佐藤 源

賛成

あすてらすは小郡市の施設であり、まずは市民の良好な利用環境を確保し、市民の利便性を図ることが第一。小郡市民の1人として、今回の提案に反対する理由は見当たらない。





議員提出
議案第4号

厚生年金への地方議会議員の加入を
求める意見書の提出について 可決

提案理由

地方議会議員のなり手不足は深刻な問題である。多様な議員のなり手を確保しなければならない。厚生年金に地方議会議員が加入できるようになると、一般の会社員や若い人が議員になりたいとき、または議員経験を活かして他の職に転身する場合でも切れ目なく厚生年金に加入できるようになり、老後の生活や家族の心配も軽減できる。

議員の厚生年金加入について、市民の理解が得られるとは到底思えない。議員の厚生年金加入となれば、事業主負担が発生し、各自治体から税金投入が新たに増えることになる。

反対



小坪 輝美



佐藤 源

賛成

地方議会議員のなり手不足の解消の一つとして、今回の厚生年金への地方議会議員の加入がある。地方議会議員のなり手不足は小郡市単独の問題ではない。地方自治は民主主義の教科書とも言われる。その地方自治を守るための一端である。

地方議員のなり手不足の大きな原因は、特に町村議員の議員報酬の安さ。一番必要なのは専業として議員活動ができる議員報酬を求めること。今の議員報酬の中から厚生年金に加入し保険料を負担することは厳しい。

反対



高木 良郎



黒岩 重彦

賛成

議員を目指す者が立候補しやすい環境をつくるのが肝要。年金制度を時代にふさわしいものにすることが、議員志望者の増加、ひいては地方議会制度の強化に繋がる。



おごおり議会だより 表紙写真を募集します!



開かれた市議会を目指し、
より市民に親しまれる市議会だよりにするために、
年4回（5月・8月・11月・2月）発行の
「おごおり議会だより」の表紙写真を募集します。
みなさまのご応募をお待ちしています。



小郡市内在住、もしくは市内でご勤務されている方、
市内に通学されている方、どなたでもご応募可能です。
市内の行事、四季の風景など記念に
議会だよりの表紙を飾ってみませんか？



応募資格、応募方法、応募条件、注意事項は
小郡市議会ホームページに記載の
募集要綱をご覧ください。



応募いただいた写真の一例です

- ＝ 写真のタイトル 「おめでとう！一年生」
- ＝ 写真の説明
- ＝ 「4月に入学式を迎える記念に撮影しました。こ
- ＝ れからそれぞれの夢に向かって進む子どもたちの
- ＝ 個性と同じように様々なチューリップが咲いてい
- ＝ て、この子たちの未来がきっと素敵なものになる
- ＝ 気持ちになりました。」



- ＝ 写真のタイトル 「ピカピカの一年生」
- ＝ 写真の説明
- ＝ 「保育園から仲良しのおともだち。カラフルな
- ＝ チューリップ畑で笑顔いっぱい一枚です。ピカ
- ＝ ピカのランドセルを背負って同じ小学校に行くの
- ＝ が楽しみな4人。周りを思いやる心の優しいとも
- ＝ だちでいようね。これからもよろしくね。」



市政を問う！

一般質問

6月定例会一般質問通告一覧表

個人質問

1	2 1	2 1	2 1	3 2 1	2	1	2 1	1	2 1	3 2 1	2 1	1	3 2 1
消防団の団員確保および業務の効率化について	地域公共交通の考え方について 地域おこし協力隊・地域活性化起業人等の受け入れについて	「食料・農業・農村基本条例」について 小学校・中学校教育について	独居高齢者や認知症高齢者への支援について 廃食用油リサイクルについて	現行保険証廃止について 生理休暇取得について 熱中症特別警戒アラートについて	学校備品・学校支援員・通学路に関して問う	人口減少・少子高齢化に直面しているなかでの施策を問う	男女共同参画の現状と課題について 学校における働き方改革の現状と課題について	立石校区小中一貫教育の現状について問う	大板井堤の調整池検討調査業務について ふるさと納税支援業務委託について	小郡市歴史文化基本構想について 地域おこし協力隊の活動した内容の継承について 市ホームページについて	耳が聞こえにくい高齢者、障がい者の対策について 熱中症対策について	今後の市民運動会の在り方とスポーツ振興について	再度インター周辺のまちづくり構想の進捗状況を問う 小郡イオン周辺の具体的治水対策について問う 小郡市における職員採用の課題を問う
後藤 理恵	大場 美紀	立山 稔	田中 雅光	小坪 輝美	橋間 順平	新原 善信	内山 伸博	深川 博英	佐藤 源	甲斐田典彦	黒岩 重彦	高木 良郎	

一般質問の記事については、議場での発言に基づき、質問者（議員本人）が要約して編集したものです。
会議録については、令和6年9月上旬頃より議会ホームページのほか、議会事務局、各コミュニティセンター、図書館で
ご覧いただけます。



高木 良郎



議員 I-C周辺の開発の手法を問う

市長 令和7年度の市街化区域編入へ向け、地区計画の策定と治水対策を進める。

開発の手法を尋ねる。

部長 区画整理事業ではなく、一般開発で考えている。

土地の買収は誰が行うのか
又治水対策は市が行うのか

部長 買収は企業が行い市は排水ポンプ設置とそのため
の調整池を造る。

開発出来る面積の内6割なのか。

6割程度しか土地の盛土が出来ず開発が出来ない。

残りについては、市街化区域に編入するのか。

部長 開発の計画がなければ市街化区域編入は難しい。農地のままとなる。

農振除外の同意と農地転用に最低でも2年近くかかるが、手続きをやる民間企業は決まったのか。

部長 民間企業の進出の話はあるが、具体的な計画までは上がってきていない。

いつ企業を決めるのか。

部長 地権者・耕作者の合意形成が出来ない中、企業を決めるのは現実的に難しい。

編入期限が令和7年度末であるが間に合うのか。
部長 非常に難しい。

地区計画はできるのか。

部長 時間的に無理がある。



イオン周辺の浸水対策は大丈夫なのだろうか。



みらいの会
黒岩 重彦



議員 市民運動会の在り方は

警長 地域や老人クラブなどの団体と連携する体制を整え、市民が負担を感じず、

楽しみながら親睦を深める

ことが出来るような支援について、今年度策定する第2期基本計画を立案していく中で、それぞれの立場から出席している策定委員と協議を深めていく。

スポーツフェスタは市民運動会の継承なのか。

部長 スポーツフェスタは、参加することで達成感や充実感を味わうことができる

ことから、地域を越えたより広い範囲で親睦を深める

ことができており、その目的が大きく変更されているが、後継で続けていく。

小学校区単位で市民運動会をやれないのか。

部長 校区単位や行政区単位でのスポーツイベントについては、それぞれの地域の特性を認識し、課題を克服していこうとするまち協の

活動に寄り添う形で、地域

スポーツを推進しており、現在策定作業中の第2期のスポーツ基本計画の中で、大きな方向性になるが、議論していきたい。

市民運動会についての点検評価はしているのか。

部長 市民やスポーツフェスタの運営に携わったスポーツ振興課、スポーツ協会、スポーツ推進委員に対して



見直しが必要な「スポーツフェスタin OGORI」

アンケートを行い、実行委員会
でアンケート結果に基づき協議を行っている。



公明党
甲斐田典彦



議員
軟骨伝導イヤホンを導入できないか

市長 聴覚障がい、聞こえの不自由な方に対し円滑なコミュニケーションが取れる

よう環境整備を進めていく。
市の高齢化及び障がいによる難聴者の状況は。

部長 65歳以上の高齢化率は人口の28.63%、障がい手帳保持者は232名。

軟骨が振動し音が聞こえる音漏れが少なく、ハウリングも起こりにくい。また認知予防にもなる軟骨伝導イヤホンの導入は出来ないか。

部長 市町村の導入状況及び効果を調査研究する。
市長の見解を尋ねる。

市長 試してみても検討する。

議員 熱中症予防のための対策は

市長 健康の重大な被害を防ぐために指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）を7月から運用開始予定。特別警戒アラートの発表時。

市民を守るための取組みは。
部長 地域で健康教室、見守り訪問活動、広報等で周知。

熱中症警戒情報を市公式LINEで周知は出来ないか。

部長 市公式LINE・SNS・市ホームページ・防災行政無線等で周知を予定。

クーリングシェルター指定施設の具体的な取り組みは。

部長 公共施設及び民間施設を検討。出入口にのぼり旗設置やポスターを掲示する。



クーリングシェルターののぼり旗



おごおり創志会
佐藤源



議員
文化財を知る取組の学校での活動は

警長 職員が学校を訪れる出前授業の充実、夏休みに児童・生徒から研究作品を募

集する小郡ジュニア歴史博士制度など。

「ふるさと小郡のあゆみ」の活用方法は。

部長 6年生に配布している。令和5年度はジュニア歴史博士制度に491点の応募があり、その原動力になっている。

中学校での歴史教育の改善をどのように図ったのか。

警長 職場体験を受け入れたいしているが、小学校と比べ、活動機会が限られる。活動の幅が広がるように努力していきたい。

議員 地域おこし協力隊の事業の承継は

部長 地域資源を活用しようとして試行錯誤しながらチャレンジする姿が地域住民にとってとても刺激になったのではないか。

スカイランタン、短冊ロンドなどの事業は、全て終わったのか。

部長 個別のイベントは、ほとんど継承ができていない。

交付税措置があるとはいえ、1千万円以上のお金をかけ、全く継承できていないことについて、どう思うか。

部長 継承はできていないが、多くの方が勉強になったと

思うし、今後の活性化の取組につながるっていくものだと考えている。



七夕スカイランタン



みらいの会
深川 博英



議員 大板井堤調整池
検討調査を尋ねる

市長 今回大板井堤の利活用、
治水面、近隣の環境改善、
コスト面や維持管理面など

を勘案し、地元自治会と協議を行った上で、調査結果に基づき今後の方針を検討していきたい。

上堤周辺は生活環境が悪化しているが認識しているか。

部長 上堤は、汚泥が堆積しガマ増殖による穂の飛散、ため池からの悪臭、ユスリ力等が発生をしている。苦情も非常に多い。

下堤は調整池として活用できると思うが。

部長 調整池として活用できれば効果は大きい。

議員 ふるさと納税支援委託業務を尋ねる

市長 委託業者の変更により、返礼品事業者の配送に関する手順に変更が生じている。事務の効率化もあるため、新しい事務に慣れてもらう

一方で、不明な点があれば、委託事業者と協力して返礼品事業者をサポートしていく。

現場で混乱が起きているが。

部長 委託事業者の変更で、ご迷惑をおかけしている。

今後地元事業者の育成地域の活性化も含めて、取り組んでいくのか。

市長 ぜひ経済活性化につなげていきたい。



の活用は、施設の能力的には、可能だが衛生管理面で施設整備に課題がある。



みらいの会
内山 伸博



議員 小中一貫教育の
現状と今後は

教員 児童・生徒が減少してきている立石小中の現状を踏まえ、令和2年に区長会

から学校の魅力を高め、地域全体の活性化に繋ぐため提案を受け、令和4年度に立石校区小中一貫教育推進準備委員会で協議を重ね、4月1日から「みどりの森くろつち学園」立石小・中学校一貫教育がスタートした。今後は、子どもたち、教職員、保護者、地域、行政が一つになり、小・中9年間を一貫させた教育を市内全体に広めて行く。

2月27日の校区説明会で出た意見は何があったか。

教員 9年間の教育課程に関する事、児童・生徒像に関わる事、取組の広報、周知に関わる事、小学校から通学の弾力化等が出された。「推進だより」に掲載した。

小・中9年間、(4・3・2年制)一貫教育の魅力は。

教員 教師、子ども、保護者、

小学校通学の弾力化に「のーと」の活用と、中学校での自校方式の活用は。

部長 「のーと」については、まだ検討していない。小学校の自校方式の給食室



銘板



新原 善信



議員 小郡市の男女平等の現状と課題は

市長 性別役割分担意識に変化がみられる一方、地域では、男性中心の文化、習慣

が根強く残っている。

今までの政策部長は全員男性だが認識しているか。

市長 登用は、性別に関わらず

個々人の能力や経験に基づいており、政策や予算づくりに関しては女性管理職の発想、視点は生かされている。女性管理職を目指す環境づくりをしており今後は女性が活躍する機会が増えてくるものと期待している。

区長の女性参画率を高めるためどう取り組むか。

部長 地域の男女共同参画の推進に向け、周知啓発をしていきたい。

議員 教職員の働き方改革、進んでいるか

教員 働き方改革取組指針を令和元年度に改定し、意識改革、業務改善、部活動の負担軽減、教職員の役割の見直しと専門スタッフの活

用、デジタル化などで、教育環境の整備に努め、年々改善が進んでいる。今後さらなる取り組みが必要。

県の時間外年間360時間以内の目標はどうなるか。

教員 目標設定に無理があり、達成可能な目標で改善に取り組んでいる。

週時間数を減らせないか。

図工教育は、感受性や想像力を育てるために必要であると思うがどうか。図工室・図工教育の必要性を問う。

部長 議員の言う通り。三國小は、平成25年から図工室がない。図工室は、広い空間で、机等の備品や、展示・観賞用備品を備えることだ。

教員 教育課程の編成権は校長にあり、実態を踏まえ適切に計画している。



部長 令和6年度から勤務時間数の制限で、人数を増やすことで、子どもたちに手厚い体制が取れると考えた。

橋間 順平



議員 人口減少・少子高齢化の施策を問う

市長 出生数の増加、子育て世代の転入増、若い世代の転出抑制を目指し、安心し

て子どもを産み育てる環境や教育環境の向上や雇用などの確保に取り組んでいく。若い世代に選ばれる地域になるには。

部長 住環境、生活環境が大事で、企業の誘致、就職で、若い世代を小郡エリアに留めさせる取り組みが必要だ。

人口減少、出生率の上昇施策を問う。

議員 学校備品、支援員、通学路等を問う

教員 学校規模に応じた整備計画を立て、子どもたちが安心・安全で快適で、豊かな学校生活を送れるよう教育環境の整備に努めている。

特別支援員について問う。



子どもたちに図工室での授業を



日本共産党
小坪 輝美



議員 健康保険証の廃止
について見解は

市長 県の市長会を通じて、
国に対して、状況を慎重に
見極めた上で実施すること

を要望した。円滑な移行に
向けた対応や制度の周知、
市民に寄り添い、保険診療
が切れ目なく受けられるよ
うに取り組む。

マイナ保険証の利用率は。

部長 国民健康保険で、9.

21%。後期高齢者医療保険
で4.7%。

資格確認書は、申請しなけ
ればならないのか。

部長 来年7月以降の一斉更
新に際しては、保険証に代
わる資格確認書を、こちら
で把握している情報によつ
て直接送付する予定だ。申
請の必要性はない。

議員 生理休暇取得の
見解は

市長 女性が健康で働き続け
られるためにも、気兼ねな
く取得できることが大変重
要である。

女性職員数と生理休暇取得
の状況は。

部長 正規職員135名中7
名取得、会計年度任用職員
452名中0名。

正規職員と一緒に市民の生
活を支えている会計年度任
用職員にも、正規職員と同
じように有給による生理休
暇を認めるべきでは。

部長 国の方でも、会計年度

任用職員の処遇改善を行つ
ている。状況を見極め必要
に応じて対応する。



公明党
田中 雅光



議員 独居高齢者の見守
りについて問う

部長 民生児童委員に協力が
いただき見守り台帳を整備し、
その情報を市や民生委員、

地域包括支援センターなど
と共有しながら見守り活動
に役立っている。また、連
携協定を結んだ民間企業に
おいて、日常業務の中で見
守りを行っている。

見守りを前提に、市内事業
者を登録する制度について
問う。

部長 他市の事例を参考にし
ながら検討していきたいと
考えている。

地域包括支援センターを校
区に1か所配置することに
ついて問う。

部長 現時点では、人員確保
や規模などの拡大は難しい
と考えているが、今後高齢
者の人口増や、業務量が増
えることにより圏域の細分
化は当然必要が出てくるこ
思う。

地域包括支援センターとい
う名称は分かり辛いのので、

わかりやすい表記にしては
どうか。

部長 これまで考えてはい
ないが、分かりやすい相談
窓口の呼称であれば、他市
の状況を確認しながら研究
したいと思う。

24時間対応の高齢者専用
ホットラインを設置するこ
とについて問う。

部長 24時間ではないが、

基幹系の地域包括支援セン
ターに直通電話を引いてい
る。





おごおり創志会
立山 稔



議員 食料・農業・農村
基本条例は

市長 小郡市食料・農業・農村基本条例は、検討会で審議し、広く市民の意見を

伺った上で、平成25年10月に施行した。

食料・農業・農村基本計画の検証や改良はなされてきたのか。

部長 毎年小郡市食料・農業・農村政策審議会を開催し、1年間の施策評価と事業実績の報告を行っている。

5月の国会で、法令の改定が通ったが、条例の改定を

行うのか、現時点での考え方を問う。

部長 今回、条例改正が必要であれば、検討会を開催し進めていきたい。

議員 小学校、中学校
教育は

教員 ICT教育については味坂小学校、大原中学校がICT教育推進モデル校に指定され、中核校として、優れた授業実践の開発、校

内推進体制づくりを進めている。

学校ごとの、地域性や特色を生かした教育とはどのようなものか。

教員 市内小・中学校13校全ての学校がコミュニティ・スクールに移行し、ふるさとカリキュラムを作成し学んでいる。

校内支援センターとは。

教員 学校に行きつらさを感じている子どもたちへ、早期に支援を行う事業である。



部長 今後も成果物を活用し、事業を展開していく。



おごおり創志会
大場 美紀



議員 市が担う地域公共交通の考え方は

市長 地域住民の移動手段の確保について市が果たす役割は大きく重要性も増して

いる。2年以内に地域公共交通計画を策定し、将来像と果たすべき役割を改めて検討していく。

地域公共交通が果たすべき役割とは。

部長 単なる交通手段だけではなく、市内商業の発展、外出機会の創出により健康増進を図り、社会保障費の削減につながるなど。

部長 わかりやすく説明していく。

議員 民間受入れ制度を活用する目的は

市長 行政だけでは困難な専門分野の新たな展開に貢献いただき、活力に満ちた持続可能なまちづくりに取り組むため。

最長3年という短いスパンで事業を遂行してもらうための体制や工夫は。

部長 一人にせずチームで業務を行っていくことが大切だと考える。今後は、さらにチームで物事を解決していく組織へと変わる必要がある。

文化庁の委託事業で作成したものは、今後も継続していくのか。



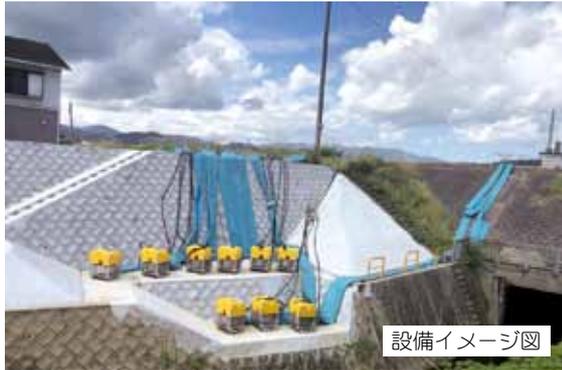
鴨のまち・小郡

補正予算

おもな事業

排水ポンプ施設整備 1億3,300万円

豪雨による浸水被害を軽減するため、大崎地区の内水氾濫水を宝満川へ排水するポンプ施設の整備を行います。



設備イメージ図

校内教育支援センター (スペシャルサポートルーム) 市内4小学校 571万2千円

学校に行きづらさを感じている子どもたちへ早期支援のために学校内に設置。支援員を配置し学習やオンライン授業のサポートや不安や悩みを抱える子どもたちへのフォローアップを行います。

デマンドタクシー 本格運行 949万6千円

実証実験の結果、利便性や利用者満足度も高いためコミュニティバスを全廃廃止し「のるーと小郡」本格運行します。

そのほかに

地域スポーツクラブ活動体制整備、新型コロナワクチン接種の補正予算などを審議し、いずれも可決しました。

議員 消防団の機動力を高めるシステムを

部長 自治体DXの導入は当然消防団の中でも進めていく必要がある。

みらいの会
後藤 理恵



消防団員の現状と課題は。

部長 定数255名に対し、実員数235名、内女性団員は9名、学生は1名が在籍している。また、171名(73%)が被雇用者で、64名(27%)は自営業者である。年齢構成については、最年少が21歳、最高齢は67歳で、31歳から50歳の方が183名で、全体の78%を占めている。

市長 消防団員の入団について

小郡市地域強靱化計画にお

ては、各自治会の区長に協力依頼事務としてご尽力を頂いているが、住民の高齢化、市外勤務者が多くなっている、成り手がいない、活動への理解が得られないなど、団員選出に大変苦慮されている。また、団員の加入促進のため、消防団広報紙の発行によるPRを行っているが、さらなる取組が必要だと考えている。

令和7年までの計画目標は。

ける機能別団員の新設についての進捗状況は。
部長 基本団員の不足が大きな課題となっているため、令和3年度より機能別団員の議論が深まっていない現状にある。機能別団員の必要性を強靱化計画で謳っている中で、消防団と情報を共有し、議論の場を作っていくきたいと考えている。



部長 計画の目標年次を決めているので、最大限努力をしていこうと思っっている。

6月定例会 議案審議結果一覧

議案番号	事 件 名	審議結果
報告第6号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (小郡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
報告第7号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (小郡市税条例の一部を改正する条例)	承認
報告第8号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (令和5年度小郡市一般会計補正予算(第15号))	承認
報告第9号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (令和5年度小郡市介護保険事業特別会計補正予算(第5号))	承認
報告第10号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (令和5年度小郡市下水道事業会計補正予算(第5号))	承認
議案第28号	小郡市総合保健福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第29号	小郡市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第30号	小郡市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第31号	令和6年度小郡市一般会計補正予算(第1号)の承認について	可決
議案第32号	令和6年度小郡市一般会計補正予算(第2号)の承認について	可決
議案第33号	令和6年度小郡市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)の承認について	可決
議案第34号	令和6年度小郡市下水道事業会計補正予算(第1号)の承認について	可決
議案第35号	小郡中学校校舎長寿命化改良工事(第2期)請負契約の締結について	可決
議案第36号	小郡市消防団消防ポンプ自動車の買入れについて	可決
同意第5号～ 同意第28号	農業委員会委員の任命について	同意
議員提出第2号	議会広報特別委員会の設置について	可決
議員提出第3号	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書の提出について	可決
議員提出第4号	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書の提出について	可決

【賛否が分かれた案件】 ※議長(井上勝彦)は表決に参加しません。(賛成…○、反対…×)

議員名	川野	内山	黒岩	甲斐田	橋間	佐藤	深川	小坪	小野	高木	大場	立山	後藤	佐々木	田中	山田	新原
案件	悦子	伸博	重彦	典彦	順平	源	博英	輝美	壽義	良郎	美紀	稔	理恵	益雄	雅光	忠	善信
報告第6号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第8号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出第4号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○

9月定例会の会期日程(予定)

8月29日(木)	本会議(議案上程)
9月2日(月)	本会議(質疑)
9月3日(火)	決算審査特別委員会
9月4日(水)	決算審査特別委員会
9月5日(木)	決算審査特別委員会
9月6日(金)	決算審査特別委員会 (予備日)
9月10日(火)	総務文教常任委員会
9月11日(水)	保健福祉常任委員会
9月12日(木)	都市経済常任委員会
9月17日(火)	本会議(一般質問)
9月18日(水)	本会議(一般質問)
9月19日(木)	本会議 (一般質問(予備日))
9月24日(火)	本会議(委員長報告と 質疑・討論・採決)

小郡市議会会議録が
ご覧いただけます。

小郡市のホームページから、平成18年5月以降の市議会会議録がご覧いただけます。
なお、令和6年6月定例会の会議録は、令和6年9月上旬頃よりご覧いただける予定です。

請願・陳情

市政等について意見や要望がある場合、どなたでも直接市議会に請願・陳情を提出することができます。

議員の紹介のあるものを請願、紹介のないものを陳情といいます。請願と陳情にはその取扱いに次のような違いがあります。

請願

定例会で審議し、その内容が妥当と認められるものについては、採択し、必要な対応を行うとともに、その結果を請願者に通知します。

陳情

全議員にその写しを配付します。請願・陳情については、随時受け付けておりますが、各定例会での審議の都合上、締め切りがございます。

請願・陳情の提出方法、その他ご不明な点等がございましたら、議会事務局にお問い合わせください。

編集後記

6月議会から議会広報特別委員会も新たなメンバーで構成することとなりました。

小郡市議会は議会の最高規範として小郡市議会基本条例を制定しています。その中で「議会は、市民への情報発信と意見の収集を積極的に行い、市民生活及び市勢の現状を的確に把握する」とあります。

私たち議会広報特別委員会は、市民への情報発信を主に担います。市民の皆さまに、分かりやすく的確な情報をお知らせし、市民の皆さまと共にまちづくりを進めていくため、立ち止まらず常に前を向きながら日々努力してまいりますので、宜しくお願いたします。

(佐藤 源)

議会広報特別委員会

委員長 佐藤 源
副委員長 川野 悦子
委員 内山 伸博
委員 甲斐田 典彦
委員 立山 稔
委員 山田 忠